

縄文の大地のうた

宮坂 敏郎(茅野市)

大地が風に聞く 幸せはどこにあるかと
風はそれに答える 遠い国で見たよと
四千年の彼方から 孤独な旅をして
目覚めた女神が 幸せの場所を教えると
縄文の大地 心のふるさと
ここで生まれて ここに生きた

川が森に聞く 道はどこにあるかと
森がそれに答える ここに道があるよと
地上の道は もともとは無かった
歩く人がいて そこが道になる
母なる大地 ^{いにしえ} 古代の道
ここで生まれて ここに生きた

道を拓いた人の 名前は誰も知らない
遥なる縄文の 名も無い人が道を拓いた
新しい時代は 古い時代を拒んで
新しい道をつくる しかしその先に
幸せがあるか 誰も知らない
未来があるか 誰も知らない